令和7年度　　授業改善推進プラン　3年　**国語科**

1 日常の学習状況・課題について

（1） 単元まとめの文章や、ノートからは各単元についてしっかり考え、表現する様子が見られる。全国学力・学習状況調査でも思考・判断・表現等についての正答率は全国平均より3．4ポイント高く、特に「書くこと」については4．2ポイント高かった。
（2） 漢字の宿題等によく取り組んでいるが、全国学力・学習状況調査では、知識・技能についての正答率が全国平均を0.4 ポイント下回った。漢字や語彙の知識が定着していない状況がある。学習が作業になっていると考えられる。
（3） 文章の読み取りにおいては、組み立ての効果についての問い等では全国平均を上回ったが、小説の人物像の読み取りといった基本的な部分で全国平均を下回った。

2 改善の計画

（1） 今後も単元ごとに自分の考えを「書く」課題を設定し表現力を高めていく。さらに話し合い活動を取り入れることで、周囲と考えを深めていけるようにしていく。また、受験も視野に入れ、表現の技法についても指導していく。

（2） 漢字の宿題を出すだけでなく、長期休み明けに小テストを実施するなどして、振り返りをさせて基本的な漢字の知識を定着させる。また、これまで単元内の語句について授業中に詳しく触れず個人で学習するものとしていたが、授業の中で語句について丁寧に確認する時間を確保する。

（3） 小説の指導についても、設定などの基本的なことをしっかり読み取らせるためのワークシートを準備するなど、一つ一つのことをおろそかにせずに授業を行っていく。

3 非認知能力を高めるための手だて

（1） 周囲とコミュニケーションをとりながら、課題を解決する場面を作る。

（2） 小テストやテストに向けて目標を設定し、計画を立て、学習をすすめられるよう試験範囲を早めに提示する。また学習についてのアドバイスを授業の中で行っていく。

（3） ワークシートの中の設問の難易、順序を工夫するなどし、分からなくても粘り強く課題に取り組む姿勢を育てる。

4 プランの評価方法

（1） 定期考査や日頃の小テストの結果などを分析し、改善に活かす。

（2） 授業アンケートで生徒の意識を確認する。